



「しまくとぅば民話」を JTA 機内で放映開始

～沖縄県立博物館・美術館と連携し、伝統文化の保全・継承へ～

日本トランスオーシャン航空(本社:那覇市、社長:野口 望、以下 JTA)は、2024年9月1日から JTA 機内において、沖縄県立博物館・美術館(館長:里井 洋一)と連携し、「しまくとぅば民話」の機内放映を開始します。

JTAでは従来より、沖縄県との包括連携協定に基づき、沖縄文化の基層である「しまくとぅば」をお客さまに親んでもらい、沖縄の伝統文化の保全・継承に貢献することを目的とし、客室乗務員が「しまくとぅば」のアナウンスを実施するほか、しまくとぅばシールの配布を行うなど、その普及に努めています。

このたび、更なる普及を目指し沖縄県立博物館・美術館の協力の下、「しまくとぅば民話」を期間限定で機内放映します。県民はもとより、観光で来県された皆さまにも、立場や世代を超えて楽しんでいただき、これから始まる旅を盛り上げてくれるものと期待しています。

JTAはこれからも、「想いを結。未来へ結。」をコンセプトスローガンとし、地域の皆さまと共にこの美しい沖縄の自然・歴史・文化・人を持続的に紡ぎ結びながら、沖縄の魅力を日本そして世界へ発信できるようさまざまな取り組みを継続してまいります。

想いを結。未来へ結。



【概要】

1. 放映期間 : 2024年9月1日～2025年8月31日 (1年間)
2. 放映機材 : JTA保有機材 全 14 機(オーバーヘッドモニターにて)
3. 放映民話 : 計 18 話(2か月ごとに3話ずつ更新) ※県内路線については1話のみ放映

※民話イメージ



機内放映スケジュール (予定)	民話題材(地域)
第1期 2024/9/1～10/31	・犬の足(中南部) ・マジムヌと火～火の起源～(宮古) ・雲雀と若水～ジンチナーとハブの話～(八重山)
第2期 2024/11/1～12/31	・キジムナーと友達(中南部) ・蚤と蝨と南京虫(宮古) ・古いガラスの知恵(八重山)
第3期 2025/1/1～2/28	・塩が一番うまい(北部) ・人魚と津波(八重山) ・蛇婿入り(中南部)
第4期 2025/3/1～4/30	・蠅と雀～はえが手をするわけ～(北部) ・ゴカリ鳥の話(八重山) ・我如古の化け猫(中南部)
第5期 2025/5/1～6/30	・古宇利島始祖伝説～天から餅～(北部) ・背負いくらべ(八重山) ・トーチカ由来～子どもの寿命～(中南部)
第6期 2025/7/1～8/31	・団子どっこいしょ(北部) ・ブナガヤの材木運び(北部) ・猿長者(八重山)

(出典)沖縄県立博物館・美術館「ウチナー民話のへや」<https://okimu.jp/museum/minwa/>

